

# 20

PROJECT

## 基本構想提案

ミュージアムロード (1.2km) を3つの環境ブロックに分け、それぞれの特徴を活かしながら「歩く楽しさ」「光の賑わい」「都市の質感向上」を高める20年の長期再整備計画です  
 点的・線的・面的なアプローチを重ね、エリア全体の回遊性と魅力の向上性をご提案いたします

## コンセプト案

# Twenty project

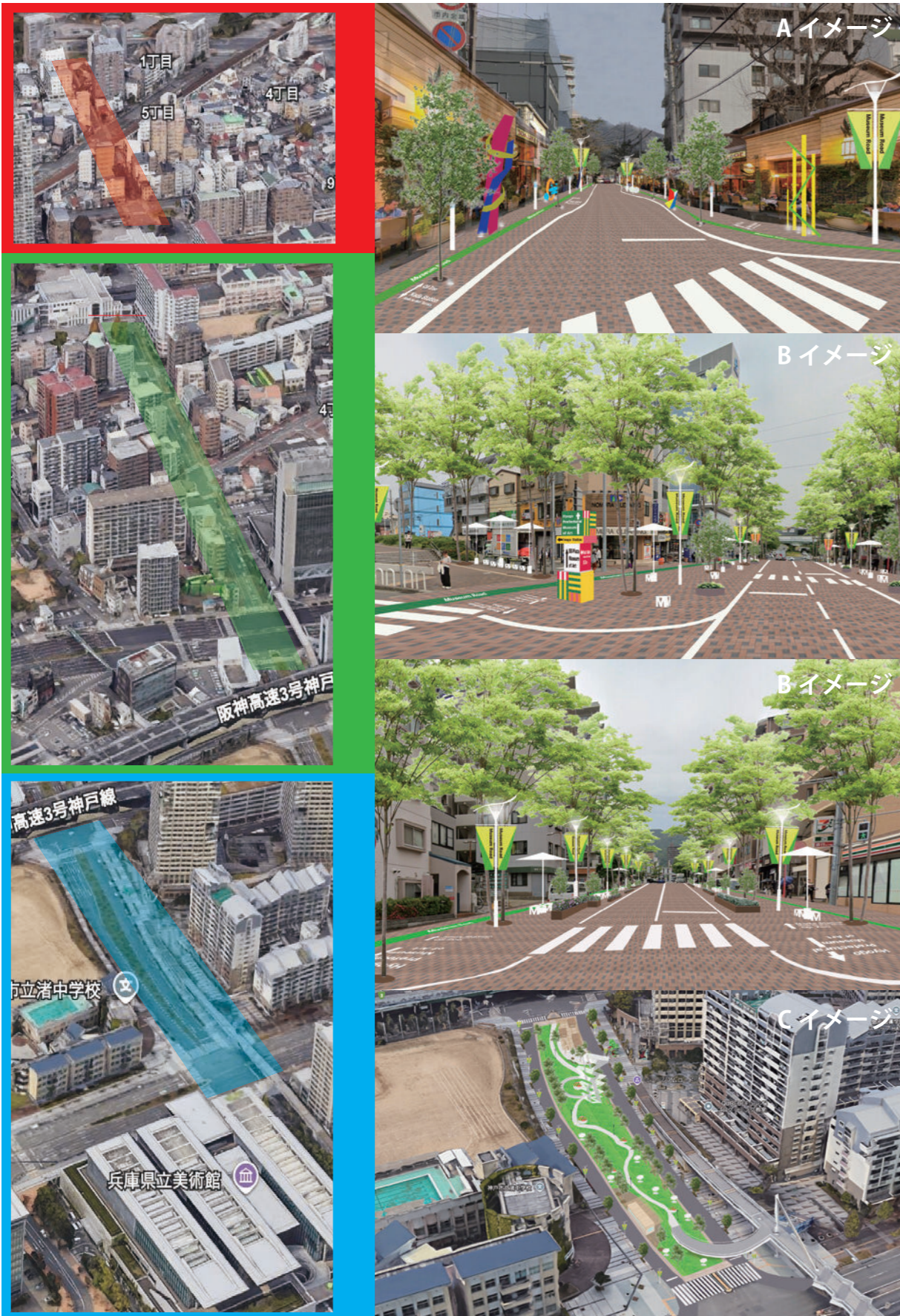
20年間、進化を続ける『光・自然・交流』のミュージアムロード

本提案は、道路空間を単なる交通の場から、「光」「自然」「コミュニケーション」が交差する『都市型ミュージアム』へと進化するご提案となります

3つのエリアはそれぞれ異なる魅力を持ちながら、  
 アート（表現）・ネイチャー（癒し）・コミュニティ（交流）の3要素が連続する「都市回廊」で構成いたします  
 20年間で地域や社会の変化に合わせて、アート・照明・デザインを毎年アップデートし、“進化し続ける街路”をつくるという点が、この再開発の最大の特徴です

# 3 AREA

## 3つのエリアが連鎖し、「歩くだけで都市文化を体験できるミュージアムロード」



**構想の POINT：JR 灘駅から王子動物園までマンションなど住宅地のエリア**

- POINT.1：歩道があるが道幅が狭い
- POINT.2：電柱が立ち並び景観があまり良くない
- POINT.3：街灯が少なく暗い感じがうかがえる

**エリアコンセプト：光のアートプロムナード（アート・表現） / アートの入口・光のギャラリー**

- ・電柱地中化、歩道にイルミネーション・彫刻作品を配置して“アートゲート”の創出
- ・夜間の安全性を高めつつ、多様な作家による作品及びイルミネーションが年々追加される
- ・動物園来館者・学生の方へのプロムナードとしてタイル舗装やカフェ・雑貨・ギャラリーの誘致をおこなう

**構想の POINT：JR 灘駅南側の灘の森テラスから兵庫県立美術館が見える見通しの良いエリア**

- POINT.1：2号線まで道幅が広く開放感がある
- POINT.2：街路樹（自然）少ない

**エリアコンセプト：緑のミュージアムストリート（ネイチャー・癒し） / 自然が包む散策型ミュージアム空間**

- ・植栽帯を強化し公園のような緑の連続性を作りながら、植栽照明や街路の陰影で歩行者を包み込む自然の演出
- ・アートベンチ、サイン、サウンドインスタレーションなども導入して憩いのエリアを創出
- ・テイクアウトショップ店舗・テイクアウト商品を誘致・開発し屋外での飲食も楽しめるエリア
- ・駅前開発と合わせ、各施設へのプロムナードとしてタイル舗装で統一し散策しやすい環境を創る

**構想の POINT：2号線から兵庫県立美術館まで道幅も広く開放感溢れるエリア**

- POINT.1：広い中央分離帯があり、電柱も無く開放感溢れるスペース
- POINT.2：開放感がある為、逆に殺風景でもある

**エリアコンセプト：交流のコミュニケーションパーク（コミュニティ・交流） /**

**街の象徴となる“展望 × カフェ × コミュニケーション”のコア空間**

- ・中央分離帯にカフェ・テラス・パーゴラを設置し、交流・休憩・イベントの中心として活用
- ・展望台（シンボルタワー）を設置し、街のランドマークとしての発信力と観光性を高める
- ・地域産業・地場製品の広報イベントの開催・ファッション等のイベントの創出
- ・海外からの観光誘致も考え、海外パフォーマー・アーティストなどのイベントも創出する
- ・週末歩行者天国として道路を閉鎖し大規模イベントにも活用出来る様にしていく

# 20年かけて育てる、ミュージアムロード（アートロード）

長期的な魅力維持のために、以下のような仕組みで持続的にアップデートしていくことを提案します。

## フェーズ1（第一段階） | 1年～5年 | 基盤整備と最初の常設作品

- ・電柱地中化、植栽帯整備、道路タイル舗装、カフェパビリオン整備など基盤を先に完成
- ・街の“初代”アート作品・照明デザインを導入
- ・地元作家・学生との連携プログラムをスタート
- ・シンボルタワーの基本構想決定、実施設計へ

## フェーズ2（第二段階） | 6年～10年 | ランドマーク形成と更新サイクル確立

- ・展望台（シンボルタワー）を建設・供用開始
- ・展望台を中心にイベント・マーケットを展開
- ・年1回、照明・アート・家具・サインなどをデザイナー公募で更新
- ・古くなった部分を補修しながら、常に“新陳代謝”する街路へ
- ・AR案内・デジタルサイネージなど未来型技術導入も進めて行く
- ・道路タイル舗装を区画に分けて進めて行く

## フェーズ3（第三段階） | 11年～15年 | 街のブランド化と国際的発信

- ・国内外のアーティストによる作品更新
- ・年度ごとのテーマ展示（光／自然／音／子どもアートなど）
- ・シンボルタワー周辺でのイベントにより“都市の文化発信拠点”として認知してもらえる
- ・観光誘致・地域産業とのコラボが創り出す、カフェや屋台、季節イベントの多様化を進める

## フェーズ4（最終段階） | 16年～20年 | 成熟・再評価・再構築

- 20年間の歴史を1つのアートアーカイブとして整理
- ・必要に応じて設備更新（ライトのLED更新、植栽リニューアル等）
- ・次の20年に向けた新たなビジョン策定
- ・“街全体がミュージアム”として完成した姿となる

## プロジェクト完了

## 最終的に目指す姿

光のアート × 自然の癒し × 展望と交流の場

3つのエリアが連鎖し、「歩くだけで都市文化を体験できるミュージアムロード」

毎年進化し、20年かけて育つ“成長するストリート”として

アート・デザイン・人が循環し、街に新しい価値を生み続ける都市空間をご提案いたします。

地域雇用活性化において、長期プロジェクトによる雇用の活性化、管理修繕の雇用対応

イベント関係の雇用が発生すると考えられます。